琉球大学学術リポジトリ

西表実験所35年の歩み　－資料編－　退官記念

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 新本光孝 公開日: 2010-01-06 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 新本, 光孝, Aramoto, Mitsunori メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/14527

○　シンポジウム関係資料（表紙のみ）

琉球大学熱帯生物圏研究センター創設記念

熱帯生物圏研究の現状と展望

に関する国際シンポジウム

日　　時　　平成６年１１月２４日（木）１３：００～１７：３０

場　　所　　琉　球　大　学　大　学　会　館

プログラム

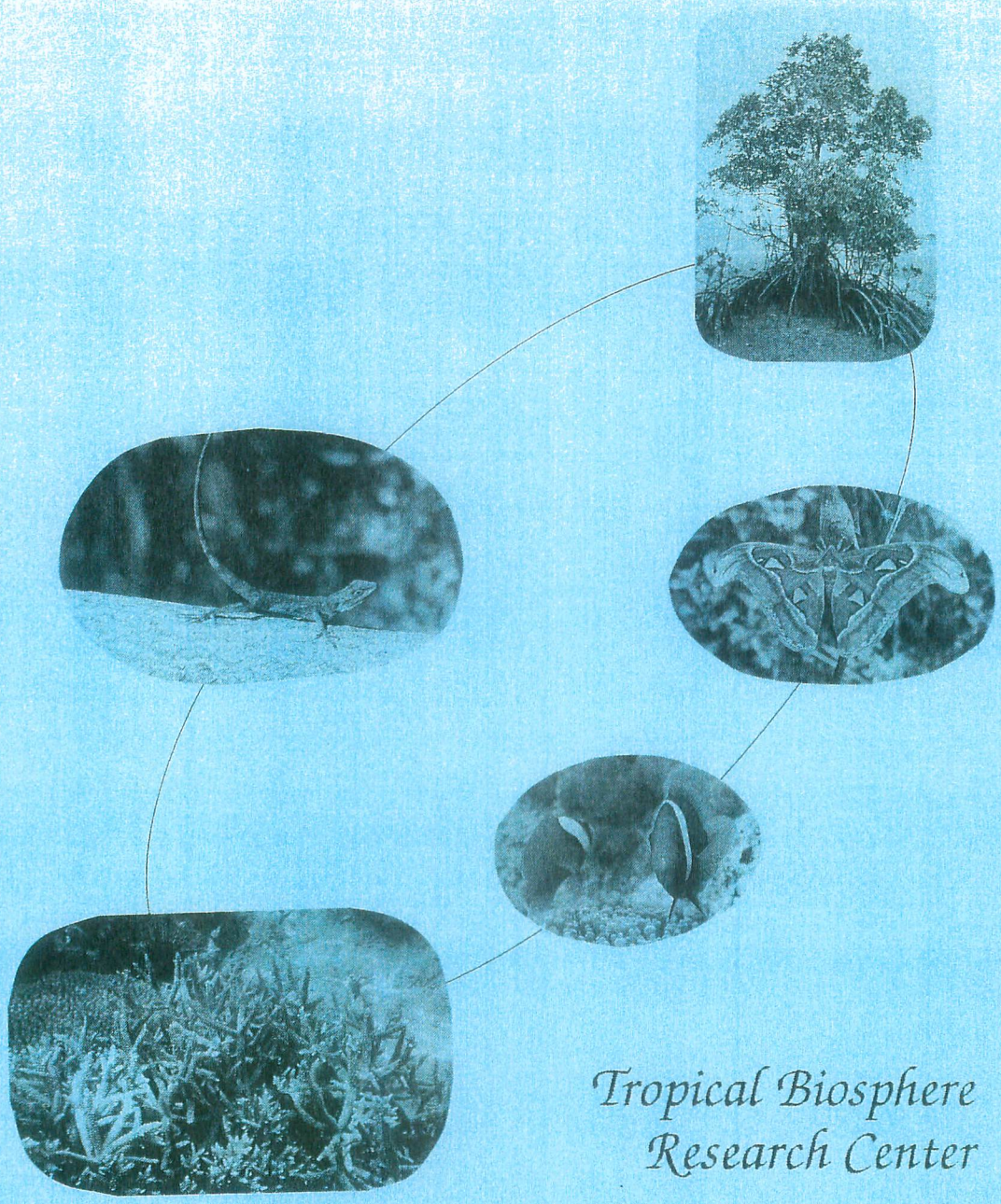
13:00~	琉球大学長挨拶	琉球大学長	砂川恵伸
13:05~	祝　　辞	文部省	
13:10~	開会の挨拶	熱帯生物圏研究センター長	山里　清
13:15~	瀬底実験所における研究の現状と展望	瀬底実験所長	高野和則
13:45~	西表実験所における研究の現状と展望	西表実験所長	新本光孝
14:15~	熱帯林研究と沖縄	琵琶湖研究所長	吉良龍夫
14:45~	休　　憩		
14:55~	熱帯・亜熱帯島しょ環境下における爬虫・両生類の多様化	熱帯生物圏研究センター環境生物学	太田英利
15:25~	太平洋の島々における両側回遊魚の動物相	グアム大学臨海研究所	ネルソン、スチブン　G.
15:55~	造礁サンゴの光合成適応について	ウラヂオストク海洋生物学研究所	レレトキン、ウラジミール　A.
16:25~	イシサンゴ類の生殖	グアム大学臨海研究所	リッチモンド、ロバート　H.
16:55~17:30	総　合　討　論		

（注）準備の都合上必要ですので、参加希望の方は、１１月１４日までに琉球大学庶務課研究協力係まで、御連絡願います。（電話.098-895-2221、内線2006、2005、FAX.098-895-4586）

第２回琉球大学熱帯生物圏研究センターシンポジウム

２１世紀に向けた熱帯生物圏研究

これまでの成果と新しい展開



Tropical Biosphere Research Center

日時：平成８年３月８日（金），10:00～17:30
場所：琉球大学会館

国際シンポジウム

熱帯島嶼における爬虫・両生類を中心とした陸生動物の多様性：起源，現状とその保全

日時：１９９８年６月６日(土)･７日(日)午前９時３０分～午後６時
場所：琉球大学千原キャンパス内 大学会館

琉球大学熱帯生物圏研究センターセミナー

サンゴ礁海域及び島嶼河川魚類研究の現状と将来

（高野和則教授退官記念セミナー）

平成11年11月17日
琉球大学大学会館
10：00～16：45

平成11年11月18日
熱帯生物圏研究センター瀬底実験所
9：30～12：00

琉球大学熱帯生物圏研究センター国際シンポジウム

分子が語る，東アジア島嶼域における動・植物の分散，隔離，多様化の歴史

日時：平成14年11月16日～17日（2日間）　9：00 受付開始
場所：琉球大学（大学会館）

参加費：一般，3000円；学生，2000円
公用語：英語

太田英利（琉球大学）
序にかえて：東アジアの生物相の起源と多様性への分子生物学的手法によるアプローチ

Dai, Chang-Feng（台湾大学，台湾）
大洋の海水循環のパターンと台湾近海のイシサンゴの遺伝的構造

増永元（琉球大学）
アロザイムデータが示す，イイジマウミヘビ・カメガシラウミヘビ種群における高い遺伝的均一性

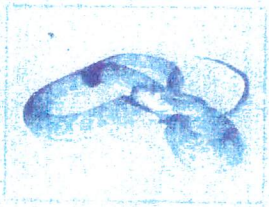
Malhotra, Anita（ウェールズ大学バンゴール校，英国）
系統発生のプロセスと地理的パターン：アジア産マムシ亜科を対象とした分子学的研究から得られた証拠

Chiang, Tzen-Yuh（成功大学，台湾）
葉緑体DNA及びミトコンドリアDNAの変異にもとづくリュウキュウマツの個体群構造と系統地理

曽田貞滋（京都大学）
日本列島におけるオサムシの進化と群集形成

Yang, Yu-Ru（台湾科学教育センター，台湾）・Chou, Wen-Hao（自然科学博物館，台湾）
台湾・琉球列島産リュウキュウカジカガエルの分子系統と生物地理

Yu, Hon-Tsen（台湾大学，台湾）
台湾でのハツカネズミ個体群の分散に対する人間活動の影響：種々の分子マーカーを指標として



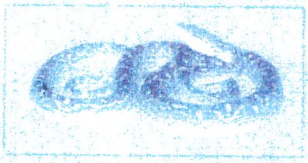
Peng, Ching-I（中央研究院植物学研究所，台湾）
オルガネラDNAの変異にもとづく台湾と日本のミズユキノシタ（アカバナ科）の系統地理

本川雅治（京都大学）
東アジア島嶼域における食虫目哺乳類の多様性と進化史

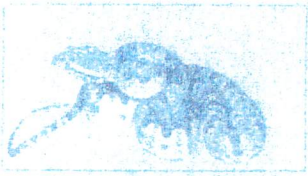
Huang, Shong（台湾師範大学，台湾）
シマフジバカマ（キク科）の系統地理に関する研究

本多正尚（福州大学）
東アジアにおけるマダラヘビ属の進化と生物地理

傳田哲郎（琉球大学）
琉球列島におけるニガナ属（キク科）の網状進化



戸田守（琉球大学）
琉球-台湾地域のアオヘビ属の系統と生物地理



松井正文（京都大学）
分子系統解析からみた琉球列島産両生類の種分化

佐藤寛之（琉球大学）
東アジアに広域に分布するスッポンにおけるアロザイムの変異

瀬戸口浩彰（京都大学）
日本の島嶼系における植物地理：特に琉球列島について

Severinghaus, Lucia Liu（中央研究院動物学研究所，台湾）
琉球列島におけるリュウキュウコノハズク個体群の分化

Stuessy, Tod（ウイーン大学，オーストリア）
ウルン島における固有維管束植物の進化

増田隆一（北海道大学）
日本列島における大型哺乳類の分子系統地理と移動の歴史

Lue, Kuang-Yang（台湾師範大学，台湾）
さまざまな分類群の分子データにもとづく台湾の動物系統地理のレビュー

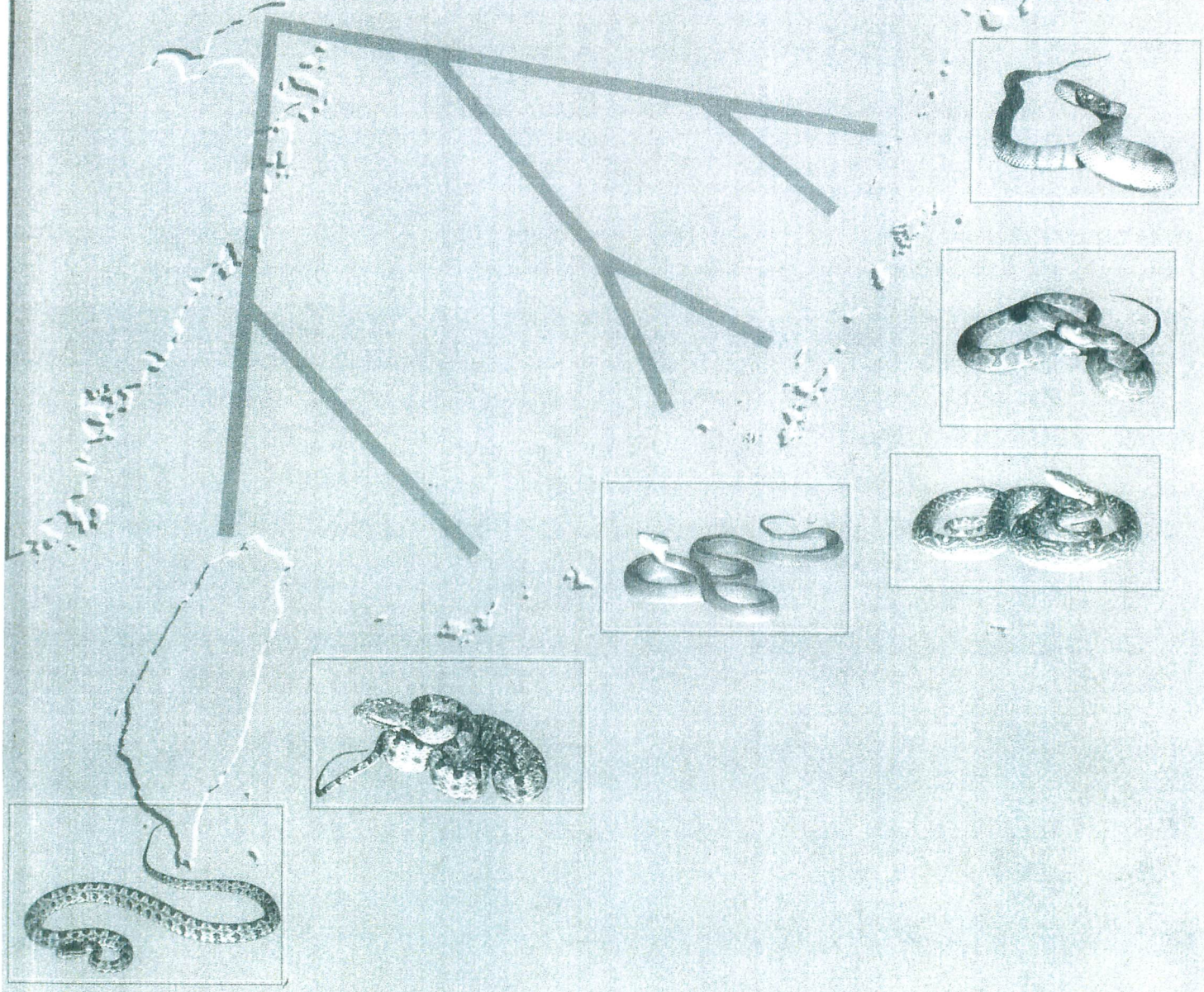
Thorpe, Roger（ウェールズ大学バンゴール校，英国）
島嶼域の系統地理における問題：分子によるアプローチ

☆主催：琉球大学熱帯生物圏研究センター
☆実行委員長：琉球大学熱帯生物圏研究センター長　新本光孝　☆コーディネーター：同センター　太田英利
☆経費助成：文部科学省（平成14年度国際シンポジウム開催経費助成）
問い合わせ先：Tel: 098-895-8937; Fax: 098-895-8966; e-mail: ota@sci.u-ryukyu.ac.jp

International Symposium

Molecular Perspectives on the Process of Dispersals, Isolations, and Diversifications of Animals and Plants in the East Asian Islands

Date: 16 & 17 November 2002 (2 days)
Venue: University Hall, University of the Ryukyus (in Senbaru Campus)



*Host: Tropical Biosphere Research Center, University of the Ryukyus
*Sponsor: Ministry of Education, Science, Sports, and Culture, Japan

2001年森林計画学会夏期セミナー

新世紀に向けた地域社会における天然林資源の保全管理
ー秘境西表島から新世紀の森林資源管理を考えるー

日　時：2001年９月19日（水）～21日（金）
場　所：琉球大学熱帯生物圏研究センター西表実験所
セミナー参加料：無　料
基調講演：新本光孝（琉球大学教授）
「亜熱帯沖縄の天然林資源の特性と利用・開発」

登録ならびに問い合わせ先
〒907-1541　沖縄県八重山郡竹富町字上原870番地
琉球大学熱帯生物圏研究センター西表実験所内
「2001年森林計画学会夏期セミナー」実行委員会
受付　新本光孝宛　Tel (09808)5-6560　Fax (09808)5-6830
ホームページ http://www.rsm.ac.jp/~yoshimoa/OKINAWA
E-mail aramotomeeve@u-ryukyu.ac.jp
共催　琉球大学熱帯生物圏研究センター